

平成23年 9 月29日

長野県知事 阿部 守一 様

長野県救急医療機能評価委員会  
委員長 伊藤 隆一

### 長野県救急医療機能評価委員会（現地調査）の結果について（報告）

平成23年 8 月30日（火）に実施した機能評価（現地調査）の結果について、下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1 調査対象施設

- （ 1 ）社会医療法人財団慈泉会相澤病院
- （ 2 ）国立大学法人信州大学医学部附属病院

#### 2 機能評価結果

- （ 1 ）社会医療法人財団慈泉会相澤病院

施設やスタッフ体制は充実しており、他の公的病院の救命救急センターと比較しても高く評価できる。

なお、一層の機能充実のため、以下の点について要望する。

##### ア ICUについて

スタッフ体制について、より円滑な救急救命センターの運用の観点から、専任のICU担当医又は当番医の中でイニシアティブを取る者（リーダー）を設置するよう検討願いたい。

##### イ 重篤患者数について

提出されたリストに記載されている内容には、重篤患者に分類すべきでないと思われる症例が見受けられる。分類基準の見直し等に取り組むとともに、最終的に医師が責任を持って分類、整理するよう検討願いたい。

( 2 ) 国立大学法人信州大学医学部附属病院

施設、スタッフなどが充実していること、及び、救急医療と各科の連携が高度に機能していることから、救命救急センター及び大学病院としての役割を着実に果たしており高く評価できる。

なお、一層の機能充実のため、以下の点について要望する。

ア ヘリポートから救命救急センターへの動線について

屋上ヘリポートからセンターまでの動線が長く一般患者と接する場所もあることから、患者の速やかな搬送だけでなくプライバシーの観点からも改善に取組まれたい。

イ 二次救急への対応について

地域の二次救急に携わる医師の養成という観点から、関係機関と調整し実現に向けて引続き検討願いたい。

ウ 救急救命士の教育支援について

現在も貴重な実習の場として協力いただいているが、今後、技能維持の面も含めて、一層の積極的な受入れを検討願いたい。

以上